

## 2 子どもの生活の状況

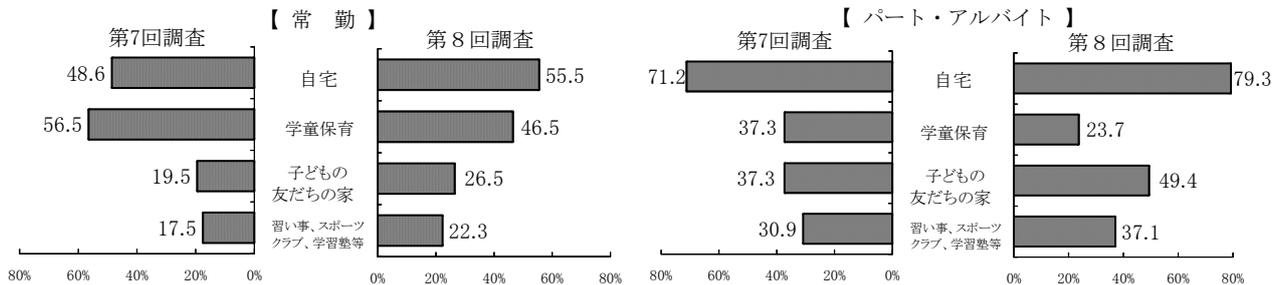
### (1) 放課後のようす

母が常勤の場合、子どもが放課後に過ごす場所のうち学童保育は、1年生(56.5%)から2年生(46.5%)で減少。

母が「常勤」の子について、ふだんの下校から午後6時頃までの間に過ごす場所(複数回答)の変化をみると、第7回調査で最も多かった「学童保育」が第8回調査では減少して46.5%となっており、一方「自宅」が55.5%と最も多くなっている。

母が「パート・アルバイト」の場合では、第7回調査、第8回調査ともに「自宅」が最も多く、それぞれ71.2%、79.3%となっている。(図4)

図4 母の就業状況別にみた放課後に過ごす場所の変化(複数回答)



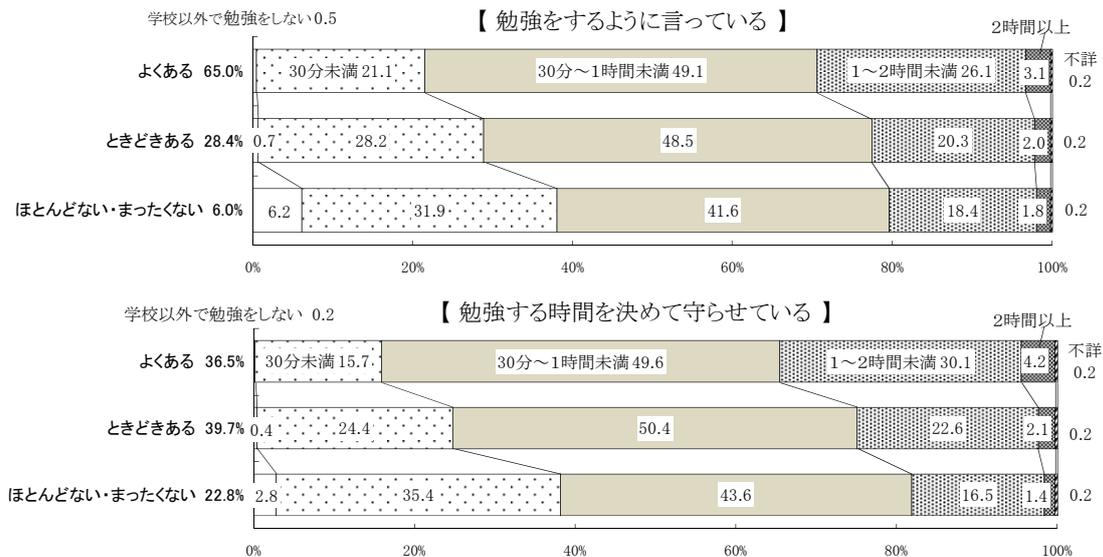
注：1) 母と同居している、第7回調査と第8回調査の回答を得た者(総数 34,508)を集計。  
2) 「常勤」は「勤め(常勤)」、「パート・アルバイト」は「勤め(パート・アルバイト)」である。

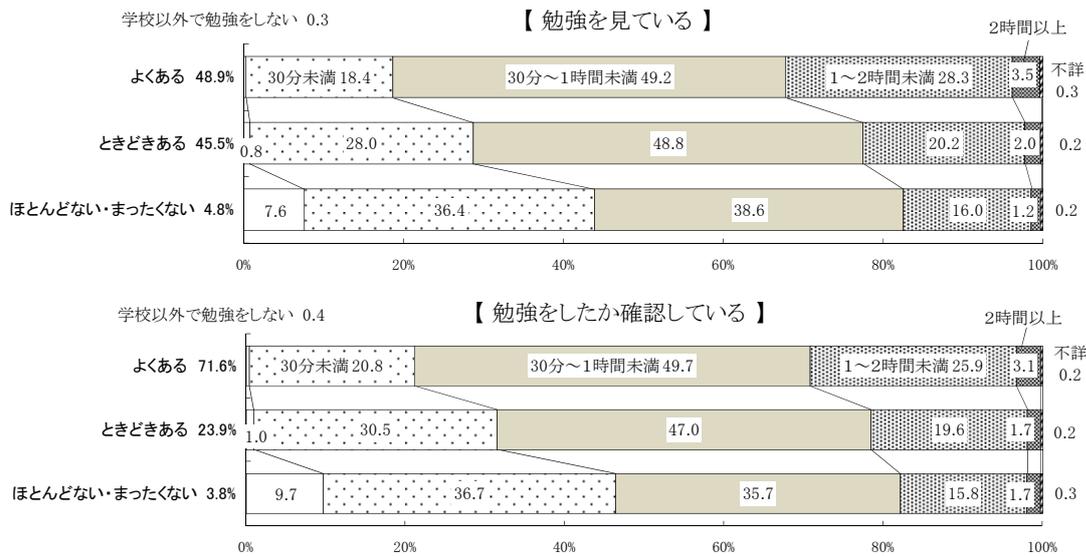
### (2) 家庭学習等

母の家庭学習への関わりが「よくある」方が学校以外で勉強する時間が長い。

子どもがふだん学校以外で勉強する時間(宿題や学習塾などの時間を含む)について、母の家庭学習への関わり方別にみると、すべての関わり方で「よくある」方が勉強する時間が長くなっている(図5)。

図5 母の家庭学習への関わり方別にみた子どもの学校以外の勉強時間





注：母と同居している、第8回調査の回答を得た者（総数 35,850）を集計。

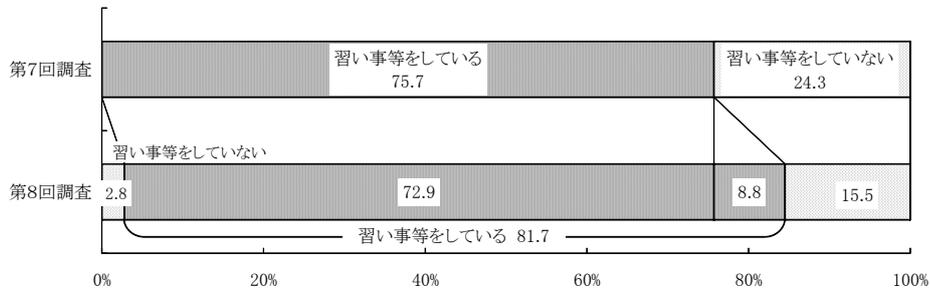
### （3）習い事等

**習い事等をしている子は8割以上。男児は「水泳」、女児は「音楽（ピアノなど）」が最も多い。**

第7回調査で「習い事等をしている」子のうち、2.8%が習い事等をやめ、第8回調査で新たに習い事等をしている子が8.8%あり、差し引き81.7%の子が習い事等をしている（図6）。

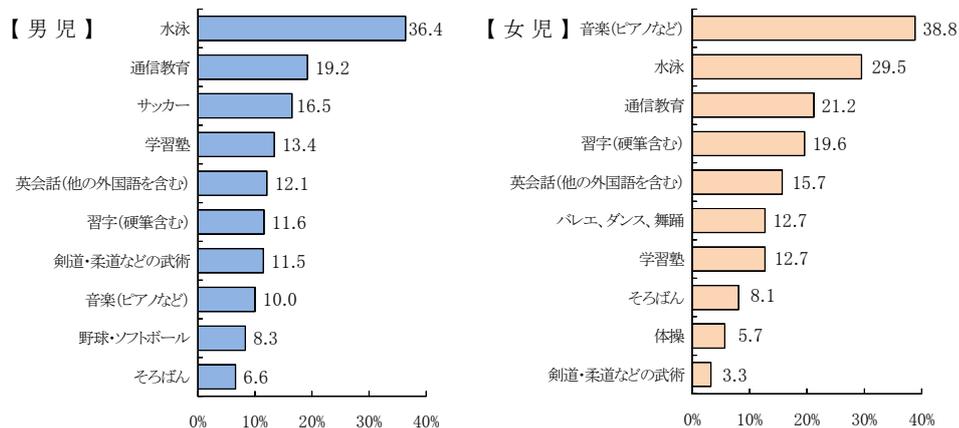
性別に習い事等の種類（複数回答）をみると、男児では「水泳」が36.4%、女児では「音楽（ピアノなど）」が38.8%と最も多くなっている（図7）。

図6 習い事等をしている子の変化



注：第7回調査と第8回調査の「習い事等」の回答を得た者（総数 34,513）を集計。

図7 性別にみた習い事等の種類（上位10種類、複数回答）



注：第8回調査の回答を得た者（総数 36,136（男児 18,783、女児 17,353））を集計。

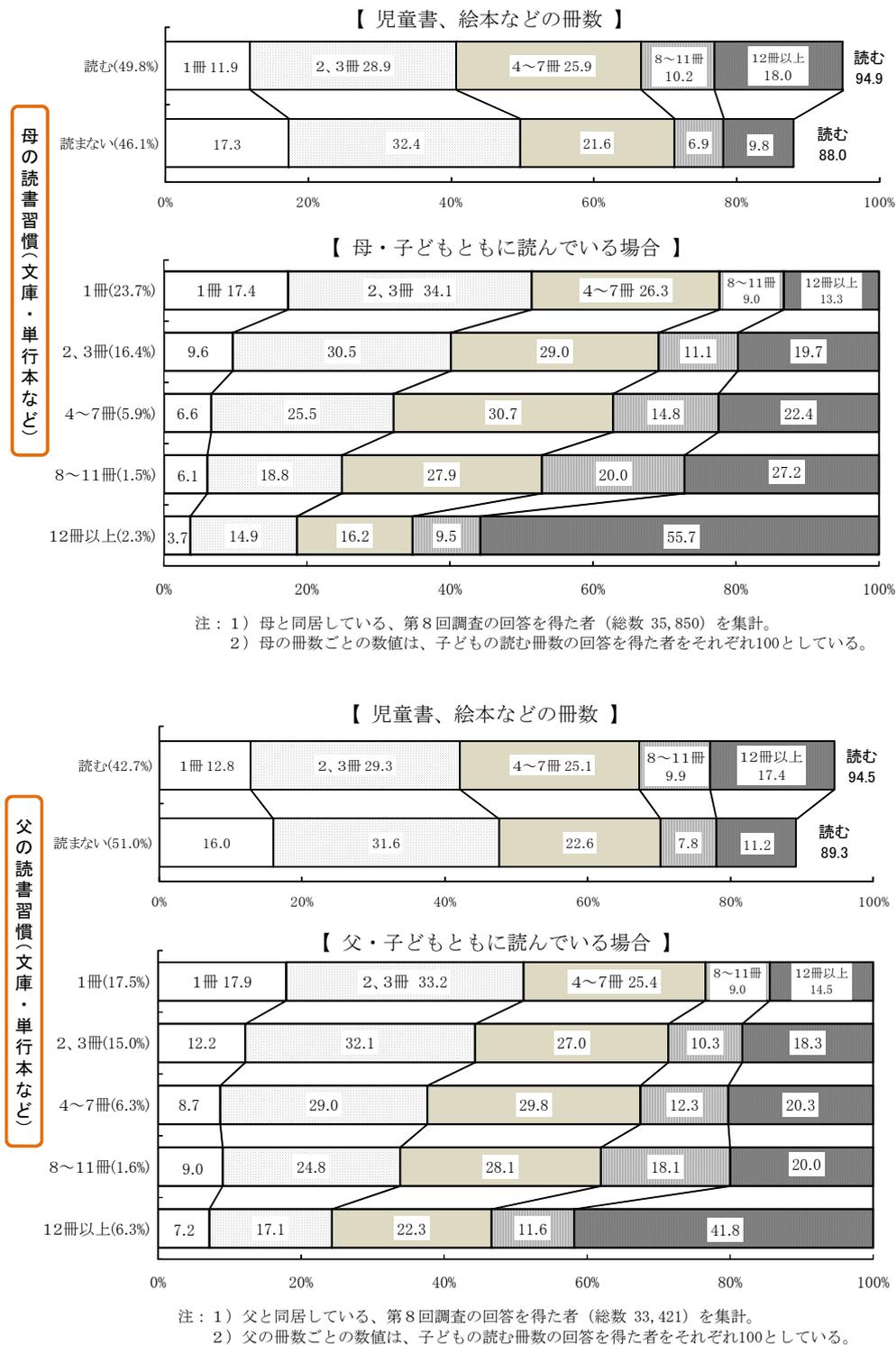
#### (4) 読書習慣

本（文庫・単行本など）を多く読む母・父の子どもは本（児童書、絵本など）を読む冊数が多い。

子どもの1か月間の本（児童書、絵本など）を読む習慣について、母・父の「読む」「読まない」別にみると、母が読む場合 94.9%、読まない場合 88.0%、父が読む場合 94.5%、読まない場合 89.3%となっている。

母・父の冊数（1冊以上読んでいる者）ごとに、子どもの冊数（1冊以上読んでいる者）をみると、母・父ともに冊数が多くなれば、子どもの冊数も多くなっている。（図8）

図8 母・父の読書習慣別にみた子どもの読書習慣（1か月間に読む本）



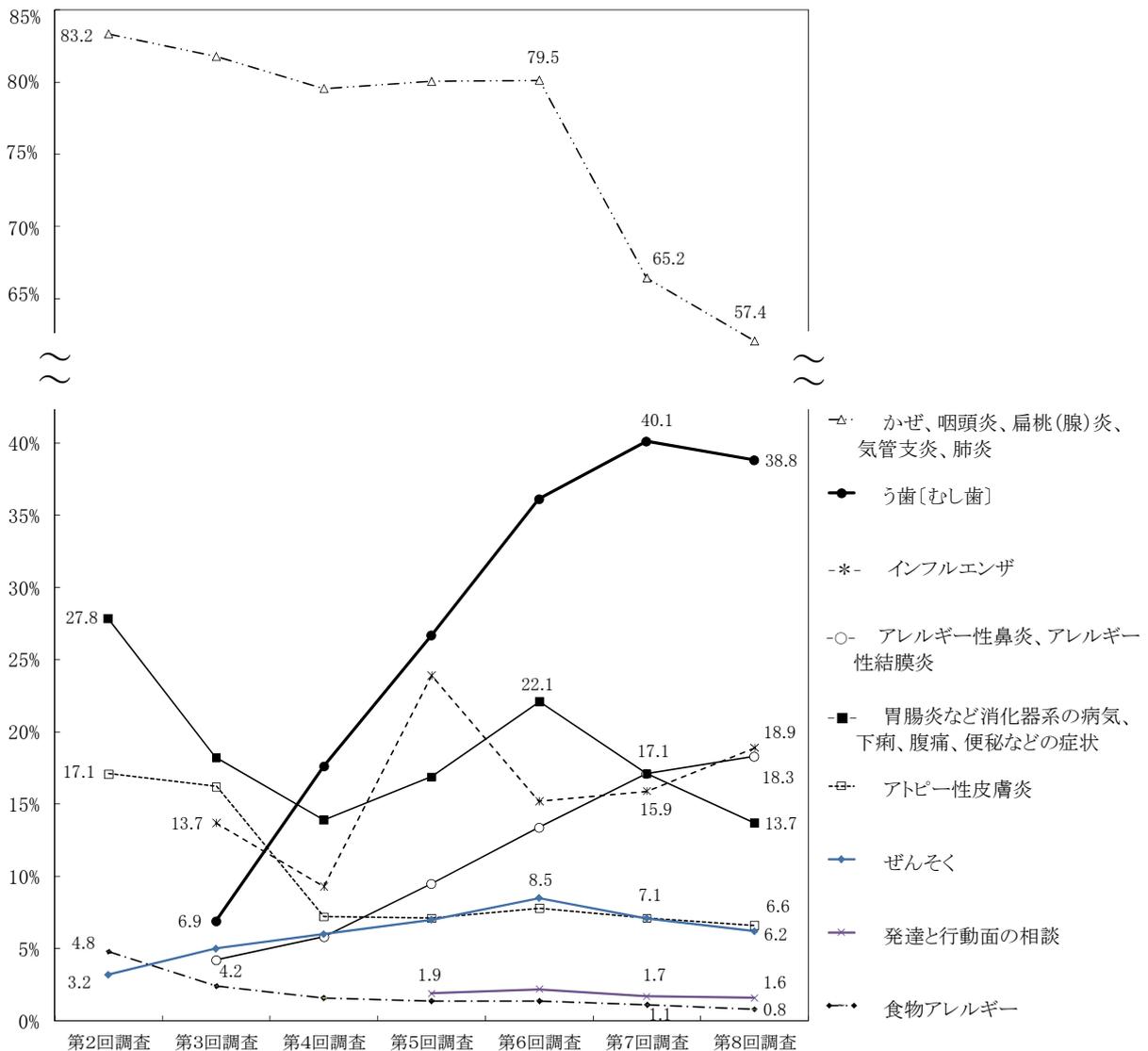
## (5) 病気やけが

「インフルエンザ」と「アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎」が増加。

この1年の間に病院や診療所にかかった主な病気やけが（複数回答）は「かぜ、咽頭炎、扁桃（腺）炎、気管支炎、肺炎」が57.4%と最も多く、次いで「う歯〔むし歯〕」が38.8%となっている。

また、第8回調査では第7回調査に比べて「インフルエンザ」と「アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎」が増加している。（図9）

図9 病院や診療所にかかった主な病気やけが（複数回答）の推移



- 注：1）第2回調査から第8回調査まで回答を得た者（総数 32, 381）を集計。  
 2）第7回調査は1年半の間に病院や診療所などで診察を受けた状況である。  
 3）「かぜ、咽頭炎、扁桃（腺）炎、気管支炎、肺炎」は、第2回調査では「かぜ、気管支炎、肺炎」についてである。  
 4）「う歯〔むし歯〕」、「アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎」、「インフルエンザ」は、第2回調査では調査していない。  
 5）「胃腸炎など消化器系の病気、下痢、腹痛、便秘などの症状」は、第2回調査では「下痢、腹痛、便秘」である。  
 6）「発達と行動面の相談」は第2回調査から第4回調査では調査していない。